

冬の道路パトロールをご紹介します

今年も冬本番をむかえました。

今回の出張所通信では冬の道路パトロールを紹介したいと思います。

冬の道路パトロールでは、冬ならではの視点が必要になってきます。安全な通行確保のため、どのようなところに注意してパトロールしているのかをご紹介します。



案内看板や歩道橋にできたつららを取り除きます。



情報板やスノーシェッドにできた雪庇(せっぴ)を取り除きます。



気温表示を確認。安全運転には
気象情報は欠かせません。

通行に支障のある道路の雪を片付けます



路面状況・気象状況や
情報掲示板の表示内容も確認します。

冬はスリップ事故が多発。
警察と協力して対応します。

冬はスリップ事故等に伴う道路附属物
等損傷也多発。復旧手続きをとります。



除雪状況を確認します。



歩道橋のロードヒーティングの稼働状況を確認します。



ポットホール(道路の穴ぼこ)は事故やパンクにつながるおそれがあるため、早急に応急処置をします。

ポットホールは、雨水の浸透による表面の剥離と振動で発生しやすくなります。冬は凍結により水分が膨張し、さらに解凍による収縮が繰り返されるために、特に発生・拡大しやすくなるのです。



除雪設備の稼働状況を確認します。



故障車やスタック車が路上にあると冬は特に危険です。二次災害を防ぐために近くの駐車帯まで牽引することもあります。



雪で中央分離帯のブリンカーライトが見えにくくなっています。道路附属物がきちんと役割を果たせるようにします。



冬期間は特に、道路脇に寄せての携帯電話は危険です。ご遠慮くださるようお願いします。

安全運転をお願いします！



『道路緊急ダイヤル #9910』(山形河川国道事務所内) フリーダイヤルで通話料は無料です